News Release

平成29年6月12日
福岡市東区馬出一丁目11番11号
日 本 乾 溜 工 業 株 式 会 社

ガードレール支柱打込機 『サイレントストライカー』導入

建設事業（交通安全施設業）を主体とする当社が、ガードレール設置工事におきまして、最新鋭の機械を導入いたしました。ガードレールの設置におきまして、支柱打込み作業にかかる周囲への騒音を劇的に軽減し、地域住民の皆様に対する生活環境への配慮が可能となります。

１．ガードレール支柱打込機『サイレントストライカー』の特徴

① 全国の納車実績４台、九州では当社が初導入（製造メーカー：大正工業㈱）
② 従来型の支柱打込機に比べ、圧倒的な静粛性を実現
③ 劣悪な環境と思われがちな建設現場において、作業員の騒音に対する負担軽減

２．従来型の支柱打込機との違い

従来型は、ハンマーによる打撃を利用し、地面へガードレール支柱の打込みを行うことから、作業時の周囲への騒音が問題となっています。『サイレントストライカー』は、支柱自体を回転させつつ（固い地盤に対しては振動を掛けながら）地面へ圧入するため、従来型とは比べ物にならない程の静粛性を確保することができます。

３．『サイレントストライカー』の威力が発揮できる場面

① 騒音対策が必要となる都市部や、交通規制による渋滞を回避する夜間での施工
⇒ 騒音の抑制から昼夜を問わない作業が可能
② 騒音による環境変化を抑えることにより、家畜に与えるストレスの軽減
⇒ 家畜が感じるとされるストレスからの影響（乳が出ない、卵を産まない等）を除去
③ 作業員の騒音作業からの解放
⇒ 支柱打込作業に対する適正な作業環境の確保

４．直近での稼働予定

現在社会問題ともなり、国土交通省も対策に乗り出しておりますが、対面通行する高速道路の片側１車線区間で、対向車線に進入して起きる正面衝突事故を防ぐため、ワイヤーロープ式の柵を設置し効果の検証が行われます。当社が九州内では初となる試行設置区間（東九州道　末吉財部IC～国分IC間の内、約８km）に施工する予定であり、早速九州初導入となります『サイレントストライカー』にて施工を行うこととしております。

最新鋭機の導入により、一歩先を見据え、同業他社を引き離す営業展開の模索に繋げます。

※ 実際の静粛性につきましては、当社ホームページに、従来型との比較動画を掲載しておりますのでご参照ください。　URL：http://www.kanryu.co.jp/

本件に関するお問い合わせ先

日本乾溜工業株式会社　技術工事統括部
〒812-0054　福岡市東区馬出１丁目11番11号　　担当　白水　章博
TEL：092-632-1007　FAX：092-632-1027　　E-mail:shiromizu@kanryu.co.jp

５．現車写真







以　上